

# 石巻市こども計画に係る「こども・若者委員の意見の反映」

【石巻市保健福祉部子育て支援課】

★ みなさんにいただいたご意見について、反映できるかどうかを考えました。

(令和6年10月作成)

- ① (☆☆☆) 「石巻市こども計画」の取組・事業に反映した意見 (計画書の最終決定は、令和7年1月を予定)
- ② (☆☆) 「石巻市の取組 (①の計画以外)」のなかで、すでに取り組んでいる意見 / 今後、反映する意見
- ③ (☆) 取組に、すぐに反映することは難しいが、参考にさせていただく意見



## テーマA：居場所

こども・若者委員からのご意見 (要約)	担当課	区分	検討結果 (意見反映等)
<p><b>キーワード【個人商店で居場所づくり】</b></p> <p>・個人商店に座れるスペースをすることでお客さん同士やお客さんと店員さんとの小さな、居やすいコミュニティができる。このような休憩スペースがあるお店に、居場所として認定を与え、設置するための補助金を出すと、気軽にお茶やお話がしやすくなるのかなと思った。</p>	子育て支援課	③ (☆)	・石巻市では、「こども食堂支援事業」、「移動型プレーパーク支援事業」など、こどもの居場所づくりを応援する (補助金を交付する) 事業を行っています。市が補助金を交付するにあたっては、要綱 (きまりごと) をつくり、その予算を議会 (市民の代表者が集まる会議) の承認をいただく必要があります。こどもの居場所づくりを進めるために、どのような形で支援していくことが最も良いのかを、いただいたご意見をはじめ、こどもや子育てに関わる団体の皆さんにも意見をお伺いしながら、一緒に考えていきたいと思えます。
<p><b>キーワード【にぎやかな町】</b></p> <p>・夏祭り以外でも、冬祭りや春祭り秋祭りを行って欲しい。夏だけでなく他の季節も行ってもらえると、たくさん人が集まるのではないかなと思った。また、夏祭り以外にも祭りがあると、来てくれる人も多いかと思った。</p>	子育て支援課	② (☆☆)  ① (☆☆☆)	・石巻市では、夏に実施する「石巻川開きまつり」のほか、春には「日和山公園のお花見」、秋には「いしのまき大漁まつり」「らいつ いしのまきハロウィンまつり」など、地域の魅力を活かしながら、イベントを実施しているところですが、もっと、こどもや若者が集い、楽しめるイベントが実施できないかということで、石巻市こども計画に新規事業「こどもまんなか推進事業 (こども等の意見反映)」を取り入れました。

			<p>【こどもまんなか推進事業とは】</p> <p>(1) こども・若者の声を行政に反映</p> <p>こどもや若者から直接意見を聴き、石巻市のこどもにかかわる各種計画などへ意見を届ける取組を実施する。</p> <p>&lt;対面版&gt; 20名程度こども・若者委員を公募して活動(1年間)</p> <p>&lt;デジタル版&gt; テーマを設け、オンライン上で常に意見を聴く体制を整備</p> <p>(2) <u>こども提案実現プロジェクト</u></p> <p><u>こどもや若者が自ら企画・立案する「こどもまんなかアクション(より良いまちにするために、市全体を対象としたユニークで夢のある活動)」の実施を支援する。(例:○○イベント、○○プレーパーク、○○フェス等)</u></p>
<p><b>キーワード【スポーツ・芸術】※人をたくさん呼び込める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスや電車の本数を増やすために、車より電車で行った方がいい施設(車が多くて駐車ができない場所)やイベントなどを増やしてほしい。</li> <li>・スポーツを通して、いろんな人との繋がりをふやしていくため、スポーツ施設(誰でも使えるグラウンドとか体育館)をふやして欲しいです。また、人を集めるため、プロのスポーツチームなどを招待して、石巻で試合などをして欲しい。</li> <li>・みんなで芸術ができる場所をふやしたい。(芸術=歌、絵、お芝居など)</li> </ul> <p>イベントなどではありますが、施設などは少ないため、芸術専用施設を増やしたい。</p>	<p>子育て支援課 スポーツ振興課 生涯学習課</p>	<p>③ (☆)</p>	<p>・施設を増やすこと(建設)については、市民ニーズの把握(より多くの市民の賛同)や、関係者と話し合い(場所選び、使い方、建設費用、交通手段のことなど)を重ねる必要があります。まずは、みなさんから出されたアイデアを、石巻市役所のなかの、こども・子育てに関わる18の部署に伝え、それぞれの計画や事業・取組のなかで検討いただくようお願いしました。</p> <p>また、すぐに施設を建設することは難しいですが、石巻市こども計画においても、できることから、はじめていきたいと考えます。</p> <p>(1)【新規事業】スポーツ振興事業 → こどもの遊ぶ機会を創出します。(目標:年間59回)</p> <p>(2)【新規事業】こどもまんなか推進事業 → こどもまんなかアクションの実施を通じて人をたくさん呼び込み、いろんな人とつながる機会をつくれます。</p>

## テーマB：子ども・若者の声を聴く

子ども・若者委員会からのご意見（要約）	担当課	区分	検討結果（意見反映等）
<p><b>キーワード【意見箱の設置】</b></p> <p>・子どもや若者は、大人と比べて意見を言う機会が少ないと感じるため、子どもや若者の声を直接聞くことができるよう、意見箱を学校やスーパーなど人が多く集まる場所に設置してほしい。</p>	<p>子育て支援課 学校教育課</p>	<p>① (☆☆☆)</p>	<p>・石巻市子ども計画の新規事業「子どもまんなか推進事業（子ども等の意見反映）」において、意見の反映に努めます。</p> <p>【子どもまんなか推進事業とは】</p> <p>(1) <u>子ども・若者の声を行政に反映</u></p>
<p><b>キーワード【意見交流】</b></p> <p>・これからを担う若者や子どもが石巻市で伸び伸びと活躍できるようにするには、今の石巻で、若者や子どもの声を聞ける、「交流の場」を広めることや、実現に向けた取組をすることが必要だと思う。</p>	<p>子育て支援課</p>		<p><u>子どもや若者から直接意見を聴き、石巻市の子どもにかかわる各種計画などへ意見を届ける取組を実施する。</u></p> <p>&lt;対面版&gt; <u>20名程度子ども・若者委員を公募して活動（1年間）</u></p> <p>&lt;デジタル版&gt; <u>テーマを設け、オンライン上で常に意見を聴く</u></p>
<p><b>キーワード【意見の実現、年齢層ごとにあった支援の充実】</b></p> <p>・子どもや若者の意見を聞くことのほかに、様々な世代の人たちの意見を聞き、やって欲しいことや必要としている支援の充実させることが、今の石巻市より、よりよい石巻市をつくる上で大切だと思う。</p>	<p>子育て支援課</p>		<p><u>体制を整備</u></p> <p>(2) <u>子ども提案実現プロジェクト</u></p> <p>子どもや若者が自ら企画・立案する「子どもまんなかアクション（より良いまちにするために、市全体を対象としたユニークで夢のある活動）」の実施を支援する。（例：〇〇イベント、〇〇プレーパーク、〇〇フェス等）</p> <p>また、学校やスーパーなど人が多く集まる場所への意見箱の設置についても関係機関等と話し合い、実施に向けて検討します。</p>

## テーマC：学びの場

こども・若者委員からのご意見（要約）	担当課	区分	検討結果（意見反映等）
<p><b>キーワード【学習環境を選べる】</b></p> <p>・いじめ等の事情で学校に行けなくなった際、「塾やフリースクールに行くしかない」ではなく、勉強するための選択肢が増えればいいと思う。「～するしかないな」と深刻な選び方をするのではなく、例えば入学前にあらかじめ、「こういう選択肢がありますよ」と、用意されていると、すごくフリーにポジティブな感情で自分に合った環境を選べると思う。</p>	学校教育課	① (☆☆☆)	<p>・令和5年4月に開設した石巻市学びサポートセンター「コイル」については、新年度に各学校から案内は配布されています。フリースクールと、情報交換会等で連携を図っていますが、今後さらに連携し、子どもたちに選択肢を提供できるようにしていきます。</p>
<p><b>キーワード【不登校支援】</b></p> <p>・「学習環境を選べる」で、どんな学習環境がよいかと考えたときに、「不登校支援」がもっと潤沢だったらよと思った。例えば、フリースクールが無償でできるとか、出席日数の取扱いに差異があり、各学校・教育機関で、理解がある学校と出席扱いにならない学校があるので、共通の理解が広まってくれたらよと思う。</p>	学校教育課	② (☆☆)	<p>・フリースクールによっては、経済的事情等を抱える子供を対象としたところもあります。出席扱いについては、フリースクールの設置目的がそれぞれ異なるので、一律にすることは難しいですが、学校長が活動状況等について情報交換して判断しています。</p>
<p><b>キーワード【子育て支援者を増やす工夫】</b></p> <p>・アウトリーチ、出前授業など、「コイル」で実施することも簡単ではないと思うので、子育て支援者を増やす工夫が必要だと思う。子育て支援者が必要不可欠なのに、足りなくて周りの大人が忙しそうだと感じる。助成金かボランティアか分からないが、その支援の継続や、こどもと支援員との長いつき合い（繋がりのやすさ）のためにも支援者への支援があるとよと思う。</p>	子育て支援課 学校教育課	① (☆☆☆)	<p>・石巻市こども計画の基本目標5の個別目標2に「地域における子育て支援活動の推進」を掲げ、協力いただける人材の発掘や確保に努めるとともに、子育て支援活動の活性化や連携を図ります。</p> <p><b>【主な取組・事業】</b></p> <p>地域互助活動促進事業、地域づくり基金助成事業、地域の人材の活用、地域子ども食堂支援事業、移動型プレーパーク支援事業 等</p>
<p><b>キーワード【コミュニティへの交通手段】</b></p> <p>・アウトリーチ、出前授業、コミュニティへの送迎について、それぞれ送迎対応も行われているようだが、送迎がないから来れないとか、送迎がないから行けないとか、家の近くにないから繋がりたいけど、繋がりがきれてない子どもたちがいる。親や支援者はすごく忙しくて圧迫しているところに、一つ手があれば嬉しい。高い交通費を払って来てくれる子もいれば、それがなくて諦めている子もいるのではないかと思います。</p>	学校教育課	① (☆☆☆)	<p>・子どもたちの送迎対応となると、安全面や保障面といったさまざまな課題を解決しなければなりません。そのため、学びサポートセンター「コイル」では「ここりーち」という訪問による学習支援機能があり、家庭や学校、フリースクール等に職員が訪問し、学習支援を行っています。</p>

<p><b>キーワード【部活動などを地域の方で】</b></p> <p>・必ず所属しないといけない部活動とかが、すごく苦手な子もいると思うので、地域の活動や社会コミュニティに所属していたり、その活動に参加していたりすればOKのように、出席日数の代わりになる部活動参加のかたちもあったら嬉しいと思う。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>③ (☆)</p>	<p>・今後、中学校では、休日の部活動の地域連携・地域移行が推進され、学校を含めた地域全体で諸活動を支えていくこととなります。休日の活動は、地域クラブの活動や社会コミュニティ等の活動へと幅が広がり、各自のニーズに応じた所属になっていきます。</p> <p>・休日の諸活動は、授業日の出席日数には入らないと考えられます。</p>
---	--------------	------------------	---

**テーマD：年齢に合わせた支援**

<p>こども・若者委員からのご意見（要約）</p>	<p>担当者</p>	<p>区分</p>	<p>検討結果（意見反映等）</p>
<p><b>キーワード【子育てに関する手当の充実】</b></p> <p>・内閣府の調査によると、1人子どもを育てるのに大体高校生までで1,700万円、大学生までだと2,200万円ほどかかるようで、ほかにも生活費がかかるなかで、1,700万円用意できるのかすごく不安を感じる。そこで、まず、児童手当を増やしてほしい。また、児童手当のなかで、地域子育てに対するのクーポンを発行してみるのはどうかと思い提案する。また、給食費に関しても、無償化が理想。10年前に比べると、物価（原材料費）も上がっており、その水準の差額だけでもいいので、無償化してほしいと思う。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>学校管理課</p>	<p>① (☆☆☆)</p> <p>③ (☆)</p>	<p>・石巻市こども計画の基本目標2に「子育てに対する不安を受け止め、安心して子どもを産み育てられる子育て環境を整備する」を掲げ、目標を達成するために各種取組・事業を実施します。</p> <p>特に、「児童手当」は国の制度改革に準じて、石巻市においても、対象を拡充して支給します。</p> <p>※ <u>18歳に到達後の最初の年度末まで（高校生年代まで）</u></p> <p>・給食費の無償化について、 給食に必要な食材は、保護者の皆さんから徴収した学校給食費により購入しています。令和5年度は、食材購入に6億4千7百万円かかっていますが、学校給食費を無償化するためには、この経費を市が準備する必要があり、財政状況が厳しい石巻市にとっては、非常に難しい状況です。</p> <p>なお、昨今の食材価格上昇により、保護者の皆さんから徴収した学校給食費だけでは、これまでどおり質と量の保たれた学校給食の提供が難しい状況が続いていますが、必要な経費を市が負担し学校給食を提供しております。</p>

<p>・出産祝い品について、第何子でも同じもの（白いタオル）をいただくようになっていいる。お祝いで友人とかからいただいたり、白く使いづらいところがあったりもするので、それが地域クーポンとか、おむつとか、お尻拭きなど実用的なものなど、今のニーズに合わせて見直していただけるとありがたいと思う。併せて、今、二子、三子への支援を頑張っていたいただいているところだと思うが、ぜひ第一子からの支援をご検討いただけるとありがたい。</p> <p>・国民保険だと個人事業主への出産手当がない。これから子どもを生むことに対しての不安の一つ。また、石巻には雇用はあるが、賃金が少ないことに対して、企業への支援というところで中小企業への助成制度などを、もっと認知を市とかからしてもらって、申請も複雑なものが多いので、行政が支援をしていただけたらと思う。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>保険年金課</p> <p>商工課</p>	<p>② (☆☆)</p> <p>③ (☆)</p> <p>① (☆☆☆)</p>	<p>・出産祝い品について、令和3年度に実施したアンケート結果に基づき、運用してまいりましたが、改めて、子育て世帯を対象としたアンケートを実施したうえで検討します。</p> <p>・国民健康保険の出産手当について、国民健康保険では、様々な就業、生活形態の方が加入しており、出産に際しての収入減少の形態が多様であることから、出産前後の所得補償である出産手当金については保険者による任意給付とされておりますが、所得補償としての妥当な支給額の算出が難しいこと、多様な被保険者間の公平性や財源確保などの課題が多く、現状では難しいものと考えております。</p> <p>・中小企業への助成制度について、企業の支援制度については、その支援を行っている機関によって周知方法が異なり、わかりにくい部分もあります。</p> <p>各制度の相談窓口がそれぞれ用意されているので、不明な点があれば、対象の窓口へご相談をしてもらうこととなりますが、石巻市においても、引き続き、窓口やホームページでの周知や相談があった場合は関係機関窓口の紹介などを行ってまいります。</p>
<p><b>キーワード【バスを増やす、料金の無償化】</b></p> <p>・とても難しいことなのは重々承知しているが、バスの本数を増やすことと、バスの料金の無償化・割引を希望させていただきたい。感覚的に、バスの本数が少なく、終わりの時間帯が早いと思う。バスの本数に関しては、本数が少ないと季節、時間帯によっては、かなり不便だと思う。無償化・割引に関しては、対象を学生や妊婦の方などにして行うと良いと思う。交通手段が少なかったり、高かったりすることは、市に残る人が減っていく理由の1つではないかと考える。このようなところを改善することで市に残る人が増えるのではないかと考えた。石巻の役所の方だけですべて決</p>	<p>地域振興課</p>	<p>③ (☆)</p>	<p>・路線バスの運行本数の増加について、株式会社ミヤコーバスが運行する市内の路線バスは、12路線ありますが、その内11路線は採算が取れておらず、市が11路線の欠損額（令和5年度は1年間で1億4千万円以上）を全額補填し、公共交通としての路線バスを維持しています。</p> <p>今後は、バス利用者数が非常に少ないために、国や県からの補助が受けられなくなり、さらに市の負担が増大する見込みとなっていることから、現在の利用状況では、残念ながらバスの増便や夜間の</p>

<p>めるのはとても大変だと思うので、もしよければ高校生や、学生や妊婦の方などを対象にアンケートなどを通して、意見を聞き、直接、石巻に住んでいる方の意見を聞いていただくと、とてもいいかなと思う。</p>			<p>運行などは見込めませんが、利用状況を注視し、株式会社ミヤコーバスと協議の上、輸送需要に見合ったサービスの提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの無償化・割引について、学生の方は、通学用に運賃が割引される定期券を購入することができますので、現在のところ更なる割引などは考えておりません。</li> <li>・妊婦の方は、当事者から要望があるかどうかや、他市町村の事例などの情報収集を行い、その必要性を研究していきます。</li> <li>・路線バス利用に係るアンケート調査について、アンケート調査自体がアンケート回答者に対する公共交通の利用促進につながると考えられるため、今後、交通計画を改訂する機会に併せたアンケートの実施を検討していきます。</li> </ul>
<p><b>キーワード【働く世代の制度完備】</b></p> <p>・パパの育休取得率 100%とか、育休産休を取得する会社の雰囲気にはフォーカスして考えた。休みづらさとか、休暇の取りにくさがあると思うので、管理職への研修というところで、育休産休への理解とか子育て世代の社員からの管理職に向けた意見とかを発表する場だったり、子育て世代がいる会社には従業員全体へ手当を出すというようにすれば「子育て世代は何か、早く帰れて休みもとれて手当もつくんだ」ではなくて、「みんな私たちと一緒に手当がついてるから、お互いに休み合って頑張りましょう」という雰囲気づくりができるのかなと思った。</p>	<p>子育て支援課 地域振興課</p>	<p>① (☆☆☆)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市こども計画の基本目標3の個別目標5に「家庭における子育てする力の向上」を掲げ、目標を達成するための主な取組2として「子育てしやすい職場環境整備推進事業」を実施します。</li> </ul> <p><b>【子育てしやすい職場環境整備推進事業とは】</b></p> <p>妊娠・出産や子育て等に対する職場の理解を促進するための意識啓発を行い、多様で柔軟な働き方を選択しやすい就労環境づくりを推進する事業です。</p> <p>また、本年9月よりワーク・ライフ・バランスの推進や働きやすい職場環境づくりに取り組む企業等を「石巻市イクボス宣言企業」として募集しています。登録企業につきましては、市ホームページで取組内容等のPRを行うこととしており、地域全体で働きやすい職場環境づくり、子育てしやすい地域づくりを推進していきたいと考えております。</p> <p>「子育て世代がいる会社には従業員全体へ手当を出す」については、各会社の判断となりますが、石巻市といたしましては、男女共同参画推進事業や父親の子育て参加促進事業などを実施し、効果的に実施内容を発信することで、地域全体で、子育てを見守り、支える環境づくりを推進していきます。</p>

